

横山幸次

区政報告
ニュース

802

2021年5月30日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
arajcp@tcn-catv.ne.jp

横山区議事務所
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
Eメール: アドレス
kouji.office@gmail.com

荒川区政の各種情報・
話題など...横山幸次区議
のホームページをご覧ください。

2021年度荒川区議会の 新しい議会構成が決定



5月25日の開会の2021年度荒川区議会定例会の緊急会議において、新しい常任委員会、特別委員会、議会運営委員会の所屬が決まり、各委員長、副委員長、理事が専任されました。

日本共産党は、区議会第2会派（公明党と同数）であり、総務企画と震災・災害特別委で委員長、建設環境と観光文化で副委員長の配分となりました。

また、議会運営委員会については、同数の公明党が副委員長となりました。日本共産党区議団は、同数の場合は、交代制（毎年、隔年）で副委員長を担うべきだと考えています。予算、決算の各特別委員会では、話し合いで共産、公明が毎年交代で副委員長を担っています。憲政の常道として会派人数に応じて配分し、同数の場合は順番に担っていくことがやはり民主的かつ公平なルールではないでしょうか。

2021年度の荒川区議会では、私横山は、建設環境委員会副委員長、震災・災害対策調査特別委員会理事、議会運営委員会理事に就任しました。建設環境委員会は、気候変動・環境問題、大規模再開発など持続可能な地球、そして地域社会に関わる重要な案件を審議します。また、大地震、豪雨などの自然災害への対応が一層求められるもとで震災・災害対策調査特別委員会の役割もますます重要となっております。

議長たらい回しはやめるべき
今回も議長が「辞職」を表明し、議長選挙が行われました。議長の任期は4年と決まっています。しかし毎年判で押したように交代=たらい回しです。第1会派から議長を出すことは当然ですが、毎問のたらい回しには賛成できません。たらい回しをやめ全会派一致できる方を選出できるようにすべきです。



各常任委員会、議会運営委員会

| | 総務企画 | 文教子育て | 福祉区民 | 建設環境 | 議会運営 |
|-------------|----------------|-------------------------|------------------------|------------------------|----------------------------------|
| 日本共産党 | 相馬 優子 斎藤 邦子 | 北村 綾子 | 小林 行男 小島 和男 | 横山 幸次 | 相馬 優子 横山 幸次 |
| 自由民主党 | 明戸 真弓美 茂木 弘 | 鎌田 理光 並木 一元 斎藤 泰紀 | 土橋 圭子 町田 高 菅谷 元昭 | 中島義夫 北城 貞治 志村 博司 | 町田 高 中島 義夫 明戸 真弓美 北城 貞治 |
| 公明党 | 山口 幸一郎 | 増田 峰子 菊池 秀信 | 森本 達夫 松田 智子 | 保坂 正仁 | 森本 達夫 菊池 秀信 |
| 立憲・ゆい・無所属の会 | 竹内 明浩 | 清水 啓史 | 久家 繁 | | 久家 繁 竹内 明浩 |
| 次世代あらかわ | 夏目 亜季 | 宮本 舜馬 | | | |
| 日本創新党 | 小坂 英二 | | | | |
| 自由民主の会 | | | 河内 ひとみ | 藤澤 志光 | |
| あらかわ元気クラブ | | | | 河内 ひとみ | |
| 維新・子育ての会 | | | | 山田 晴美 | |

各特別委員会

| | 震災災害 | 健康危機 | 観光文化 | 援助団体 |
|-------------|-----------------------|-------------------------|-------------------------|-----------------|
| 日本共産党 | 小林 行男 横山 幸次 | 北村 綾子 斎藤 邦子 | 相馬 優子 | 小島 和男 |
| 自由民主党 | 鎌田 理光 町田 高 茂木 弘 | 菅谷 元昭 斎藤 泰紀 北城 貞治 | 土橋 圭子 中島 義夫 志村 博司 | 明戸 真弓美 並木 一元 |
| 公明党 | 菊池 秀信 保坂 正仁 | 山口 幸一郎 森本 達夫 | 増田 峰子 | 松田 智子 |
| 立憲・ゆい・無所属の会 | 竹内 明浩 | 清水 啓史 | 久家 繁 | |
| 次世代あらかわ | | | 夏目 亜季 | 宮本 舜馬 |
| 日本創新党 | | | | 小坂 英二 |
| 自由民主の会 | | | 藤澤 志光 | |
| あらかわ元気クラブ | | | | 河内 ひとみ |
| 維新・子育ての会 | | | | 山田 晴美 |

委員長
副委員長
理事

2021年度の荒川区議会では、私横山は、建設環境委員会副委員長、震災・災害対策調査特別委員会理事、議会運営委員会理事に就任しました。建設環境委員会は、気候変動・環境問題、大規模再開発など持続可能な地球、そして地域社会に関わる重要な案件を審議します。また、大地震、豪雨などの自然災害への対応が一層求められるもとで震災・災害対策調査特別委員会の役割もますます重要となっております。



横山区議は建設環境と震災災害
気候変動、災害対策に全力！！

困ったことなどお気軽にご相談ください (03)3895-0504 横山事務所



下は、発掘調査現場



以前お知らせした、町屋4丁目マンスション建設現場で見つかった埋蔵文化財の発掘調査が続いています。このあたりはかなり広い範囲で埋蔵文化財が存在する地域です。6月いっぱい発掘調査日程のためマンスション建設の予定が7月からにずれ込んでいます。建設事業者からすれば、早く着工したいのですが、周辺住民のみならず、周辺の工事期間中の「合意」や建設付近に埋蔵文化財があることが当初から見込まれた地域です。ですから仕方ありません。

町屋4丁目のマンスション建設現場で見つかった遺跡：6月末まで発掘調査が続いていますが新しい発見は？

以前お知らせした、町屋4丁目マンスション建設現場で見つかった埋蔵文化財の発掘調査が続いています。このあたりはかなり広い範囲で埋蔵文化財が存在する地域です。6月いっぱい発掘調査日程のためマンスション建設の予定が7月からにずれ込んでいます。建設事業者からすれば、早く着工したいのですが、周辺住民のみならず、周辺の工事期間中の「合意」や建設付近に埋蔵文化財があることが当初から見込まれた地域です。ですから仕方ありません。

横山幸次

裏面 荒川区男女共同参画社会推進計画(5次)、まちづくり...など

定例法律相談会

6月7日(月)
横山事務所
18時~20時

弁護士と横山区議が相談をお受けします。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介いたします。
生活相談は、随時受付しています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

ジェンダー平等...

荒川区男女共同参画社会推進計画(5次)を策定 「誰もが自分らしく生きることができる」社会へ



上は、アクト21。その機能発揮が必要なときです



全ての人が自分らしく生きることができる社会を実現するために、私たち誰もが、性別・年齢・国籍、性自認・性的指向、立場等にかかわらず、幅広く多様な属性の人々の生き方を理解することが必要です。

ジェンダーギャップ、同性パートナーシップ制度...多くのパブリックコメントが寄せられ意見が反映

5月12日、区議会総務企画委員会で荒川区男女共同参画社会推進計画(5次)のパブリックコメントの結果報告がありました。今回は、22名から55件の意見が寄せられ、そのうち10件が計画に新たに反映されました。これまでの各種のパブリックコメントの中でも件数とともに計画に新たに反映した数も増えているのが特徴です。

基本理念の内容が充実
特に計画の柱になる基本理念「誰もが自分らしく生きることができる社会の実現」の内容に性自認・性的指向が加筆補強されているのが特徴です。

「基本目標2 あらゆる分野において男女共同参画を推進」のうち荒川区行政における女性割合

| 指標 | 現状値 | 目標値 |
|--------------------|------------------|------------------|
| 女性のいる審議会の割合 | 84.4% (2019年) | 100% (2025年) |
| 審議会等における女性委員数の割合 | 21.0% (2020年) | 30.0% (2025年) |
| 区職員の管理監督者における女性の割合 | 33.3% (2021年) | 35.0% (2025年) |

審議会等は、地方自治法で定める審議会、委員会。

れたことは重要ですが(囲み)。他に、ジェンダーギャップ指数が121位などの現状認識記載、「性犯罪、性暴力対策」についての区の取り組み強化の発信、同性パートナーシップ制度導入について、配偶者暴力について「ハラスメント」を含める荒川区防災計画に性的少数者の視点を、などが計画案では修正して補強されました。

同性パートナーシップ制度の文言が入ったことは評価しますが、「必要な支援策について調査研究」するにとどまったことは残念です。区議会で陳情も採択されたこともあり積極的な取り組みが求められます。

町屋地域の不燃化特区で道は広がったが... 道路上の電柱などまちづくりの問題は山積

町屋3丁目と4丁目の間を通る通称「豊島通り」は、住民のみなさんご協力もあって一定幅が進んでいます。随分見通しの良くなった場所も生まれています。

しかし、残念なことは、道が広がっても歩道帯の真ん中の電信柱です。また、道路上には電線類が張り巡



らされ、大地震のときなどの避難や緊急車両の通行を障害物となる危険性を持っています。

ではどうするのか? 思い切って電柱の地中化をすすめるべきではないでしょうか。区は、生活道路の電線類の地中化を課題として上げていますが実施には至っていません。技術的問題は



解決しており、後は費用負担の問題。確かに多額の費用が必要ですが、災害危険度の少ない西日暮里駅前再開発(右図)に250億円もの税金をつぎ込んでいます。一番危険度の高い地域に税金を投入してこそ、荒川区の将来を見据えたまちづくりではないでしょうか。



「選択的夫婦別姓」について 「国の動向を注視」だけ?

残念なこともあります。意見で「選択的夫婦別姓」について「地方自治体からも声を上げ、後押しすることを望む」という意見に対し、「国において検討・討議」されているとして、「引き続き国の動向を注視」というだけで区の考えを示しませんでした。

また区の管理職などの女性比率の引き上げについても目標の引き上げ(数年以内に4割程度)についても「推進」という一般論にとどまったことも残念です。

今週のデータ 日本の医師数は OECD37カ国中ワースト2位

日本はもともと医師・看護師が少なくいまコロナ禍で医療崩壊が各地で深刻化しています。医師の人数は、OECD37カ国の中で、人口あたり換算でなんとワースト2位36位です。

加えて消費税を補助金に使う病床削減をすすめる法案が強行されると今年度だけで病床10,000床、医師1,600人、看護師5,800人が減らされ国民の命・健康は危機にさらされます。

